

「令和4年度第2回 大阪府河川構造物等審議会」 傍聴者意見

開催日時	令和5年3月13日 月曜日 午後6時00分から午後7時32分まで
場所	大阪府西大阪治水事務所 1階 AB会議室（対面・Web併用）

（大阪市 中村氏） 発言内容

○中村です。まず、私この今の報告のほうの三大水門について、今まで質問をたくさんしてるんですが何の回答もなく、今回この景観ということになるんで、質問していいかどうかよく分かりませんが、まず、この図面をぱっと見たときにですね、皆さんこの景観ですから感覚が優先だということなんでしょうけど、この三大水門の例えば幅だとか高さだとかね、近傍の防潮堤の高さだとか、いわゆる諸元がどこにも入ってないんですよ。ほいで、これは何年まで持たせるもんかも、そういう要するにこの三大水門の機能というのは今まで一度もまとめられてるものを見たことがないんです。で、この今まで聞いてましたら、この三大水門を造ることについていろんな先生方から非常にこれからの地球温暖化をはじめ、通る台風の進路等によっては今よりも2メートル、3メートル高い津波が来てもおかしくないよという先生もおられた。だから、その中で国だとかいろんなことから見られて、この最終形状になったと思うんですが、最終形状をこういう諸元のこういうものを造りますという報告は我々住民は何も知らないんです。ぜひ、ホームページにこの三大水門はこういう規模で、こういうものを何年には何メートルのものを造ると。これ多分、最終形状のものをすぐ造るのではなくて、順次造っていかれるというのが当時の会議の中で議論出ましたんで、中途段階があるんか、もう最終形状1回で造られるんか知りませんが、そういうものをどういう形で何年にどこの水門は何年に造って、高さは何ぼで、それはどのような自然災害を防御するためのものですよということをきちっと整理してからですね、この景観問題は議論されるべきではないかと思うんです。

で、ちなみにですね、言いますと、2年か3年前だったと思うんですが、この河川構造物等審議会でUSJの前の河川堤防が壊れかけてるんで、これを補修するにはどうしたらいいかという会議が専門部会を設けられたと思うんですけど。そのときにそのUSJの前の河川堤防の高さを現状の高さのままにどうい具合に対応すればいいかという議論ばかりされた。そのときも質問したんですが、これは将来この水門、三大水門に対応する堤防の高さは幾らにするんですかという質問をしても何の答えもないし、ホームページのどこにも記載されてない。で、大阪府の地域防災計画を読んでも、今高潮については台風の伊勢湾台風クラスのもの危険な、第二室戸ですか、コースを通ったときに対応できるようにするしか書かれてなくて。別個で河川の越流等については、その何か今はやりの避難路を誘導するような対策をやると書いてあるんですが、津波だとか高潮についてはそういうことはどこにも記述されてない。それでもってここでいろいろ議論されて、こういういい三大水門造るんだと。私はこの三大水門造ることは反対なんですけどもね。こういういいものを造りますよと一生懸命PRされている。どうも何か議論がおかしいと思うんで、まあ今からわあわあ言ってもあれですけど、少なくとも今申しましたように、どういう諸元のものを何年にどういう目的で造っていくんだと。これ一発で最後まで造るんか、途中経過があつて順次造っていくんか。そういう少なくとも府民がこういう構造物について理解できるような報告書をまとめていただきたいと思います。